

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|--------------|
| 事業所番号 | 2394100099 |
| 事業所名 | グループホーム百の木東海 |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-------|--|----|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） | 評価 |
| | 地域の高齢者施設として、認知症高齢者理解の役割を視野に入れた熱心な取り組みがある。地域とかかわりを持ちたくて始めたというホーム利用者の「作品展」が近隣でも好評である。 | ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） | 評価 |
| | 2ヶ月に一度の会議開催、メンバーの選定、協議内容等、制度に則った適切な運用がある。今回の訪問調査日が会議日と重なり、参加をすることができた。ホームを地域資源と考える地域、行政関係者とともに、熱心な協議・検討の場となっていた。 | ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） | 評価 |
| | 市担当者・地域包括支援センターの運営推進会議参加があり、ホームの課題等を相談・解決できる関係を構築している。また、東海市認知症GH連絡協議会参加等で、行政関係者と協働できる体制がある。 | ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） | 評価 |
| | 家族の面会回数も多く、直接の聴き取りや話し合いの機会となっている。家族から直接意見を言ってもらえるように、日ごろからの関係作りや、言いやすい雰囲気づくりに努めている。聴き取った意見・意向には迅速な対応がある。 | ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | |
| | ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 総合評価 | - | ○ | | | | |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。